

2026 年 10 月 CP について



【10月CP分析】

10月CPは、プロパン680.00ドル/トン（前月比+55.00ドル）、ブタン730.00ドル/トン（前月比+70.00ドル）と決定されました。米国-イラン間の攻撃は8月初旬からやや沈静化の方向にありましたが、8月30日に両国間の攻撃が再開されて以降、9月初旬にかけて断続的に継続されました。また、9月中旬以降、イエメンの親イラン組織フーシ派によるサウジアラビアへの攻撃が激化しており、中東地域での戦線の拡大と更なる事態の長期化により、今後のLPGを含むエネルギー供給への影響が危惧されております。9月に入り中東情勢が緊迫化したことを背景に、9月の原油価格は上昇基調にて推移し、アラビアンライト原油価格は、9月1日～28日平均で109.95ドル/バレル、前月比+24.62ドル/バレルとなりました。原油価格が大きく上昇したことに加えて、パナマ運河の混雑と通峡コスト増に伴い、米国からのLPG供給の一部が喜望峰経由の海上輸送ルートに振り替えられており、今後の需要期に向けた供給懸念が強く意識され、9月のLPG市況は上昇推移となり、最終的に10月プロパンCPは680ドル/トン(前月比+55.00ドル)、ブタンCPは 730 ドル/トン(前月比+70.00ドル)と大幅な値上げでの決定となりました。ブタンについては、米国の供給余力が限られていることから、特に需給ひっ迫が危惧されており、プロパンよりも価格が高騰しております。